



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年1月8日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長兼経
 理部長 (氏名) 鴫澤 賢治 TEL 011-558-7000
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	29,676	0.8	348	60.4	364	63.0	238	83.4
2020年2月期第3四半期	29,442	3.2	217	14.1	223	21.1	130	142.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	189.02	
2020年2月期第3四半期	103.08	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	18,604	5,110	27.5	4,043.14
2020年2月期	18,910	4,925	26.0	3,896.52

(参考)自己資本 2021年2月期第3四半期 5,110百万円 2020年2月期 4,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		50.00	50.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、引き続き未定としておりますが、直近の業績推移及び今後の進捗状況を勘案し、3月上旬に業績予想の修正を公表できるよう現在精査中であります。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期3Q	1,264,640 株	2020年2月期	1,264,640 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年2月期3Q	610 株	2020年2月期	610 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期3Q	1,264,030 株	2020年2月期3Q	1,264,030 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年3月1日~2020年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞やインバウンド需要の消失などにより、景気は大きく後退いたしました。緊急事態宣言解除後においては、国内の経済活動が徐々に再開され、政府による各種施策効果もあり緩やかな回復の兆しがみられたものの、目下のところ内外で感染拡大が加速しており、予断を許さない状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、感染拡大の影響による巣ごもり消費はあるものの、将来不安による消費者の生活防衛意識や節約志向が高まる中で、小売業の構造的な問題である人手不足及び人件費高騰への対処、さらに地域のライフラインとしての役割を果たすことが大きな課題となっております。また、コロナ禍に伴う食品宅配やネットショッピングなどの非対面型サービスの急増により、市場のシェア争奪戦が一層激化しており、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社はお客様と従業員の安全確保を最優先事項として営業継続に注力し、「商品力」、「現場力」及び「マーケティング力」の強化による確固たる競争力の構築を最大の課題として取組み、品質・価格等の多様化する顧客ニーズに対応してまいりました。

当社におきましては、お客様にとって価値がある商品を提供することにより、お客様に当社の価値や想いを共有していただき、お客様との信頼関係及び共感を確固たるものとする「ラッキーブランド」の確立に努めております。

営業面においては、社会構造の変化やコロナ禍により即食需要、安全・安心志向及び節約志向が高まる中、簡便商品及び健康志向の品揃え拡充に取組み、商品力強化における6MD戦略において、上期はパワープライスMD(支持される価格)に重点を置き、下期は顧客ニーズに対するジャストパックMD(適正量目)の対応強化により売上確保に努めております。また、「価格訴求」、「品質訴求」などの目的を明確化したプライスカード、POP等の刷新により、値ごろ感ある価格設定や高付加価値商品の視認性を高めて、顧客認知度の向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間におきましては、感染拡大防止のための外出自粛要請や休校及び新常態としてのテレワークの増加により、家庭内での内食需要が高まり、まとめ買いや巣ごもり消費により米、麺類、レトルト食品などの保存食品・日配食品が好調に推移いたしました。緊急事態宣言解除後においても、巣ごもり消費、内食需要や衛生関連用品の好調が続いたものの、いわゆる「3密」回避のため、お盆帰省などの年中行事やイベントの自粛・中止が相次ぎ、本来あるべき需要は減少傾向でありました。

また、コロナ禍により家庭での調理自体が増えていることで、即食性の高い惣菜部門・ベーカリー部門は苦戦しており、衣料品部門は、外出自粛の影響によりシニア向け衣料等の不調が続き、前年同期比88.6%と大幅マイナスとなりました。

経費管理面におきましては、コロナ禍対処に伴う消耗品の増加があったものの、感染拡大防止の観点による集客抑制のため、チラシ等販促を自粛したことやポイント販促の抑制により、広告宣伝費及び販売手数料が大幅に削減され、加えて原油相場低迷による水道光熱費の減少もあり、販売費及び一般管理費は前年同期比99.6%となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高296億76百万円(前年同期比0.8%増)、経常利益3億64百万円(同63.0%増)、四半期純利益2億38百万円(同83.4%増)となりました。

当第3四半期累計期間における店舗の状況は、新設店舗及び閉鎖店舗は無く、改装店舗として2020年9月に「ラッキー新琴似四番通店」の改装を実施しております。

2020年11月30日現在の店舗数は、34店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して3億5百万円減少し186億4百万円となりました。

その主な要因は、前払費用の増加が45百万円、繰延税金資産の増加が39百万円であったものの、現金及び預金の減少が1億79百万円、有形固定資産合計の減少が1億50百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して4億91百万円減少し134億93百万円となりました。

その主な要因は、賞与引当金が2億20百万円増加したものの、買掛金の減少が1億88百万円、短期借入金の減少が2億円、未払金の減少が3億円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して1億85百万円増加し51億10百万円となりました。

その要因は、株主配当による減少が63百万円であったものの、四半期純利益の計上が2億38百万円及びその他有価証券評価差額金の増加が9百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における当社の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、外出自粛により内食需要が増加した一方で、感染予防のための販促施策自粛などにより経費は削減となり増収増益となりました。緊急事態宣言の解除後は、徐々に経済活動も再開し、消費者の購買動向も通常に戻りつつありますが、新規感染者数は11月以降増加傾向が強まっており、全国的に急速な感染拡大に至る可能性があり、厳しい状況となっております。現時点において感染症の収束時期の見通しは立っておらず、今後の景気動向等が不透明な状況の中、当社の業績を合理的に算定することは困難であります。

そのため、2021年2月期の業績予想につきましては、2020年7月10日に公表しました業績予想から変更はなく、引き続き未定としておりますが、直近の業績推移及び今後の進捗状況を勘案し、3月上旬に業績予想の修正を公表できるよう現在精査中であります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,924,762	1,744,826
売掛金	946,230	978,392
商品及び製品	1,546,676	1,582,822
原材料及び貯蔵品	66,807	75,370
前払費用	103,057	148,833
未収入金	446,424	388,009
その他	17,786	14,927
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	5,051,477	4,932,913
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,433,647	10,467,006
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,769,153	△6,943,137
建物(純額)	3,664,494	3,523,869
構築物	695,242	695,242
減価償却累計額及び減損損失累計額	△566,174	△580,895
構築物(純額)	129,067	114,347
機械及び装置	610	610
減価償却累計額	△490	△520
機械及び装置(純額)	119	89
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△6,947	△7,119
車両運搬具(純額)	575	402
工具、器具及び備品	504,201	507,733
減価償却累計額及び減損損失累計額	△461,058	△467,733
工具、器具及び備品(純額)	43,142	39,999
土地	7,222,022	7,220,531
リース資産	1,045,893	1,014,269
減価償却累計額及び減損損失累計額	△837,878	△798,420
リース資産(純額)	208,015	215,849
建設仮勘定	30,694	32,344
有形固定資産合計	11,298,132	11,147,434
無形固定資産		
ソフトウェア	74,353	80,067
ソフトウェア仮勘定	955	1,840
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	93,538	100,136
投資その他の資産		
投資有価証券	182,332	190,049
出資金	479	479
長期前払費用	88,010	79,702
繰延税金資産	448,529	487,965
差入保証金	1,727,089	1,664,112
保険積立金	16,869	—
投資その他の資産合計	2,463,311	2,422,310
固定資産合計	13,854,982	13,669,880

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
繰延資産		
社債発行費	3,800	1,510
繰延資産合計	3,800	1,510
資産合計	18,910,261	18,604,305
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,042,035	2,853,249
1年内償還予定の社債	50,000	300,000
短期借入金	4,050,000	3,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,161,382	1,136,455
リース債務	137,219	118,047
未払金	590,240	290,205
未払費用	301,269	321,244
未払法人税等	100,040	110,745
未払消費税等	78,735	28,201
前受金	20,406	21,875
預り金	563,807	609,409
賞与引当金	105,994	326,887
ポイント引当金	31,591	31,761
流動負債合計	10,232,723	9,998,082
固定負債		
社債	600,000	300,000
長期借入金	1,625,291	1,720,528
リース債務	179,600	173,962
退職給付引当金	879,567	870,784
長期預り保証金	293,039	289,609
資産除去債務	62,395	63,040
長期未払金	112,229	77,642
その他	90	—
固定負債合計	3,752,214	3,495,567
負債合計	13,984,937	13,493,650

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,459,304	1,635,028
利益剰余金合計	3,924,304	4,100,028
自己株式	△1,672	△1,672
株主資本合計	4,915,655	5,091,379
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,668	19,275
評価・換算差額等合計	9,668	19,275
純資産合計	4,925,323	5,110,654
負債純資産合計	18,910,261	18,604,305

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	29,442,800	29,676,771
売上原価	21,925,813	22,084,050
売上総利益	7,516,987	7,592,720
営業収入		
不動産賃貸収入	203,931	204,001
運送収入	636,109	657,785
営業収入合計	840,041	861,786
営業総利益	8,357,028	8,454,507
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	326,934	278,499
配送費	571,439	589,809
販売手数料	431,720	373,574
給料及び手当	1,479,307	1,474,006
賞与引当金繰入額	289,596	326,887
退職給付費用	80,842	78,544
役員退職慰労引当金繰入額	3,243	—
雑給	1,815,249	1,824,063
水道光熱費	612,520	551,249
減価償却費	336,924	294,462
地代家賃	656,821	648,424
その他	1,535,009	1,666,355
販売費及び一般管理費合計	8,139,611	8,105,877
営業利益	217,417	348,630
営業外収益		
受取利息	6,262	5,355
受取配当金	7,310	7,602
受取事務手数料	7,061	10,250
助成金収入	5,300	3,440
雑収入	11,137	13,654
営業外収益合計	37,071	40,303
営業外費用		
支払利息	26,286	20,823
社債発行費償却	2,891	2,290
貸倒損失	412	—
雑損失	1,215	1,245
営業外費用合計	30,806	24,358
経常利益	223,682	364,575
特別損失		
減損損失	13,140	9,100
固定資産除売却損	11,189	1,520
特別損失合計	24,329	10,620
税引前四半期純利益	199,352	353,954
法人税、住民税及び事業税	108,227	155,574
法人税等調整額	△39,170	△40,546
法人税等合計	69,057	115,028
四半期純利益	130,295	238,925

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社では、固定資産の減損損失の測定や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社事業への影響は、緊急事態宣言は解除されたものの、今後の新たな感染拡大も想定され、翌事業年度以降に本格的な景気回復傾向になると仮定し会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が大きく変化した場合には、翌事業年度以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。